

事業番号

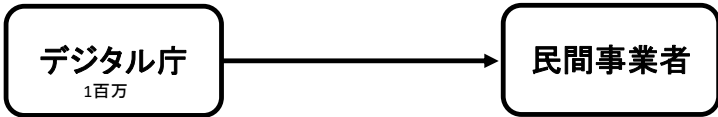
2023 - デジ - 22 - 0001 - 51

令和5年度行政事業レビューシート

(デジタル庁)

事業名	デジタル庁内開発情報システム			担当部局庁	戦略・組織グループ		作成責任者
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	庁内情報システム		渡邊 企画官
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	デジタル庁設置法(令和3年法律第36号)第4条第2項第17号、第18号			関係する計画、通知等	デジタル社会の実現に向けた重点計画(令和5年6月9日閣議決定) 情報システムの整備及び管理の基本的な方針(令和3年12月24日)		
政策	情報通信技術等の適正・効率化に関する施策の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	情報システムの整備						
政策体系・評価書URL	https://www.digital.go.jp/policies/assessment/						
事業の目的 (5行程度以内)	本事業は主に開発やデザイナー等のデジタル庁の高度なITスキルを持つ民間専門人材を対象にMacを基盤とした開発環境の導入を推進し、開発・デザイン業務の非効率性を解消することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	従来のデジタル庁の業務環境は、システム開発を行う民間専門人材にとって、上記の実現に向けた作業の生産性の向上、品質の確保の観点から不十分な点が多く、ハード・ソフトを問わず多くの課題が存在する。また、プロジェクトが個別サイロ化して進むことによるセキュリティリスクや品質の不整合の発生が懸念される。上記のことから本プロジェクトにおいて開発に必要な基盤の構築し、ツールを導入することでエンジニア、デザイナーの業務を効率的かつ効果的に進められるような業務環境を整備する必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	本事業は主に開発やデザイナー等のデジタル庁の高度なITスキルを持つ民間専門人材を対象にMac開発基盤の構築と開発業務に必要なツールの整備等を実施する事業である。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-
		執行額(G)	-	-	1		
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
					-		
	計(A)		-	-			

活動内容① (アクティビティ)	Mac端末のPoC(概念実証)を実施する									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	業務上、高度な開発環境を必要とするユニットを対象として参加希望者を募り、PoCを開始する。	導入したPoC端末の台数	活動実績	台	-	-	17	-	-	
			当初見込み	台	-	-	10	50	100	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	初期段階として、令和4年度から10名程度を対象にPoCを開始し、本格運用に向けて段階的にPoC参加者を増やす。令和5年度から開発環境に関するアンケートを実施し、課題を洗い出ししながら満足度の向上を目指す。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度		
	開発人材の活躍によるプロダクト品質の向上	アンケートによる満足度(5点満点)	成果実績	点	-	-	-	-		
			目標値	点	-	-	-	2		
達成度	%	-	-	-	-	-				
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	各ユニットにおけるプロダクト品質の向上が実現したかどうか等の観点から、開発環境に関するアンケートを実施し、満足度を測定する。									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	デジタル庁民間専門人材の増加に伴い、段階的にPoC参加者を増やしPoCの精度を向上させる。								
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度		
	開発人材の活躍によるプロダクト品質の向上	アンケートによる満足度(5点満点)	成果実績	点	-	-	-	-		
			目標値	点	-	-	-	3		
達成度	%	-	-	-	-	-				
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	各ユニットにおけるプロダクト品質の向上が実現したかどうか等の観点から、開発環境に関するアンケートを実施し、満足度を測定し、前年度より満足度が向上していることを測定する。									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	デジタル庁民間専門人材の増加に伴い、段階的にPoC参加者を増やしPoCの精度を向上させる。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度		
	開発人材の活躍によるプロダクト品質の向上	アンケートによる満足度(5点満点)	成果実績	点	-	-	-	-		
			目標値	点	-	-	-	4		
達成度	%	-	-	-	-	-				
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	各ユニットにおけるプロダクト品質の向上が実現したかどうか等の観点から、開発環境に関するアンケートを実施し、満足度を測定し、前年度より満足度が向上していることを測定する。									
アウトカム設定についての説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									



本事業における、端末の確保、
運用、ライセンス確保などを行う

資金の流れ
 (資金の受け取り先
 が何を行っているか
 について補足する)
 (単位: 百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」におい
 てブロックごとに最大
 の金額が支出されてい
 る者について記載す
 る。費目と用途の双方
 で実情が分かるように

A.			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
役務	mac基盤の整備運用	1			
計		1	計		

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本電気株式会社	7010401022916	システム・インテグレーション・保守等	1	その他			
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	